

「海の出前授業」派遣レポート

都道府県：北海道

派遣先（学校名）：北海道大学高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP)

授業タイトル：描け！ぼくらの「海の未来予想図」

講師名：藤井賢彦（北海道大学）

派遣年月日：2020 年 10 月 25 日

派遣者コメント

今回の出前授業は CoSTEP が主催、日本海洋学会が協力という位置づけで、サイエンスカフェ形式で実施されました。今回で 114 回を数えるサイエンスカフェは、通常は紀伊国屋書店札幌本店のラウンジで開催されることが多く、気軽にサイエンスを楽しめる雰囲気があります。今回はコロナ禍のせいで対面での開催がかなわず、オンライン開催となりました。

私自身も CoSTEP の修了生なので、サイエンスカフェを開催するにあたっての段取りをある程度は把握しているつもりでしたが、見えないところで想像以上に準備して下さっていたことを後で知りました。学会主催のイベントと異なり、森羅万象の中から海を選びゲストを選定する作業に始まり、諸々の準備。正味 1 時間のために半年近くの間を費やして下さったそうで、頭が下がります。とかくややこしい専門分野の研究を社会に分かりやすく伝えてくれる科学技術コミュニケーションも確実に進歩していると実感しました。今回は多くのゲスト候補の中から私を選んで下さってありがとうございました。

カフェでは、地球温暖化・海洋酸性化が沿岸生態系に及ぼす影響の評価・予測に関する最近の研究成果と、再生可能エネルギーを活用した緩和・適応策について、温泉熱を利用した陸上養殖等を例に紹介しました。オンタイムでは 65 名のご参加を頂きました。オンライン開催だったので、対面開催ほどには聴衆（視聴者）の皆さんの反応が分からないのですが、後半はスタッフの皆さんが You Tube のコメント欄に寄せられた質問を随時紹介して頂き、それにお答えする形で進行了しました。

通常の講演会は話者がほぼ一人で準備して臨むことが多いのですが、今回はまさにカフェを運営して下さった CoSTEP 受講生との話し合いの延長でコンテンツが見る見るうちに出来上がっていきました。この内容は取り上げられるだろうと私が思った内容が取り上げられなかったり、その逆のケースもあったりして、研究者が主張したいことと社会の関心が一致しないことも多々あるのだと実感できて、私としても今後の研究成果の発信に際しての課題を見出すことができました。後で視聴者の皆さんから寄せられたアンケートも見せて頂いたのですが、CoSTEP 受講生の雰囲気づくりや、話し下手な私をフォローしてくれた聞き手の当意即妙が明らかに内容の理解を促進してくれたことがよく分かりました。

当日の動画は You Tube の以下の URL

<https://www.youtube.com/watch?v=qau47OowpG4>

からご覧になれますので、ご興味がありましたら是非ご覧ください。

最後に、このような機会を提供して下さった CoSTEP スタッフ並びに受講生の皆様、海洋学会講師派

遺事業関係各位、そして視聴者の皆様にお礼申し上げます。残念ながらコロナ禍が続き、人の移動の制限が余儀なくされる中、海に興味と関心を持って下さる方々が少しでも増えるきっかけになれば幸いです。

